

乳がん高度検診・治療センター NEW-す NO.86

2021.7

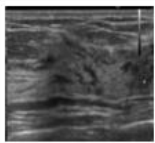
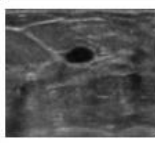
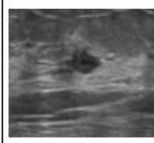
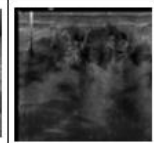
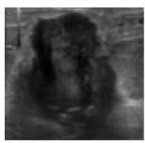





乳がん検診

乳腺超音波(エコー)検査のおはなし




超音波(エコー)とは、人の耳では聞くことのできない高い音のことを言います。音は物にぶつくと反射する性質があります。超音波(エコー)検査はこの性質を応用した検査です。

乳腺は年齢やホルモンの状態、また個人によって変化し易い臓器です。乳腺超音波(エコー)検査は、その変化の中に隠れている病変を見つけ出すことを目的としています。

私達はこんな画像を見ています。

				
				
良性 異常所見なし	所見はあるが 明らかに良性	良性と悪性の 判別がつきにくい	悪性の可能性が 高い	明らかに悪性

そして乳腺がどんな顔つきをしているか、映し出されたものがどの顔に当てはまるのか、いろいろな手段を使って、振り分ける作業をします。時々画面に出てくる色の付いた画像や波形はその手段の一つです。

時にはこんな  かわいいふりして  裏に悪い顔を持っていたり、また  上手に寝たふりをして見つからないように隠れたりしています。乳腺超音波(エコー)検査をして手が止まったり、同じところを行ったり来たりしているのは、判断を間違えないようにするためです。

この画面に映し出されるのは音とコンピューターが造り出した世界です。残念ながら今の技術力では乳腺超音波(エコー)検査では見えてこない病変もあります。

マンモグラフィ検査と乳腺超音波(エコー)検査はお互いを補い合うような検査方法です。マンモグラフィ検査の弱点を乳腺超音波(エコー)検査が、乳腺超音波(エコー)検査の弱点をマンモグラフィ検査が補っています。

しかしごく一部ですが両方検査してもわからないこともあります。

乳腺超音波(エコー)検査は2名の超音波検査士(女性)が対応させていただきます。

乳がん高度検診・治療センター 村山沙紀、加藤玲子



市立貝塚病院

TEL : 072-422-5865

